

2023年3月10日

大阪工業大学
学長 井上 晋 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好一郎



対象機関：大阪工業大学
申請年月日：2022年7月29日
訪問調査年月日：2022年10月12日
調査員：鈴木 真、能勢高志

検証の総評

大阪工業大学は、常翔学園が1949年に開設した工科大学で、大阪府内に大宮キャンパス、梅田キャンパス、枚方キャンパスを有する。工学部、知的財産学部が大宮キャンパスに、ロボティクス&デザイン工学部が梅田キャンパスに、そして、情報科学部が枚方キャンパスに設置されている。これらのうち、研究等を目的とした動物実験が、工学部生命工学科で実施されており、マウス及びラットが、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に則して適正に飼養保管されている。また、動物実験にかかわる基本的な事項や手続きは、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下、「基本指針」という。）」に適合した「大阪工業大学動物実験に関する規定（以下「動物実験規程」という。）」と関連規定等を策定し、学長の責任の下で適正に実施さ

れている。大阪工業大学ライフサイエンス実験倫理委員会を設置して、げっ歯類を用いた動物実験計画の審査、承認、結果報告等に対応する体制を構築している。

特に、同じ常翔学園を母体とする摂南大学からの外部委員 3 名を含めて動物実験計画を審査している点は評価できる。一方で、「動物実験規定」及び関連規定等に定められた内容が現状と則していない点も認められるため、実験動物の飼養保管方法の一元的な管理を含め、今後、より適正な動物実験の実施に努められたい。

